

# 多様性が生む高血圧医療の未来

## 高血圧学会ダイバーシティ推進委員会の10年間の成果とこれから

2024年10月14日（月） 10:40～11:40 第5会場 国際会議場4階

- ✿ 男女共同参画からD&Iへ：「みりよく辞典」で読み解く高血圧学会の進取性：山下純世
- ✿ 未来を担う子供達への高血圧教育：幼児から中高生まで学会参加体験を通じた取り組み：藤田恵
- ✿ 女性研究者奨励賞から見える学会のダイバーシティ：受賞後の動向を含めて：吉田守美子
- ✿ D&Iから高血圧診療を全国民に -例えば私達 (医療従事者)の血圧は大丈夫?-：山崎大輔
- ✿ 持続可能な進化：未来を拓くダイバーシティ推進委員会：石田万里

# 男女共同参画からD&Iへ 「みりよく辞典」で読み解く高血圧学会の進取性



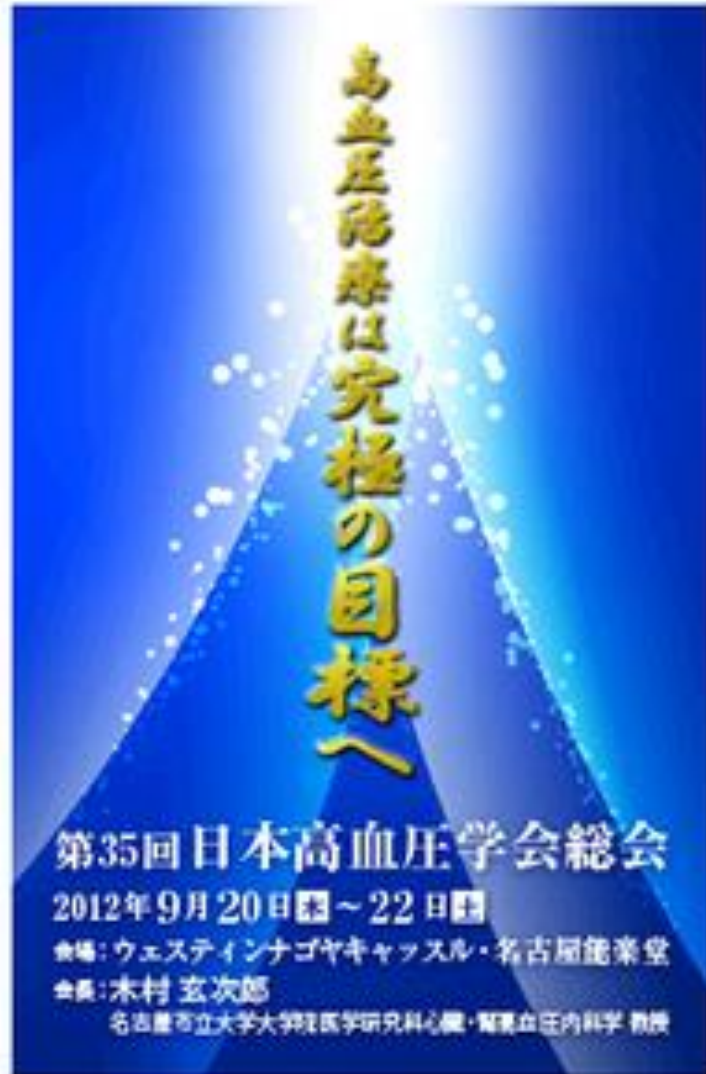
名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院 循環器内科

山下 純世



# 高血圧学会ダイバーシティの夜明け

2012年 第35回 日本高血圧学会総会（名古屋）



会長



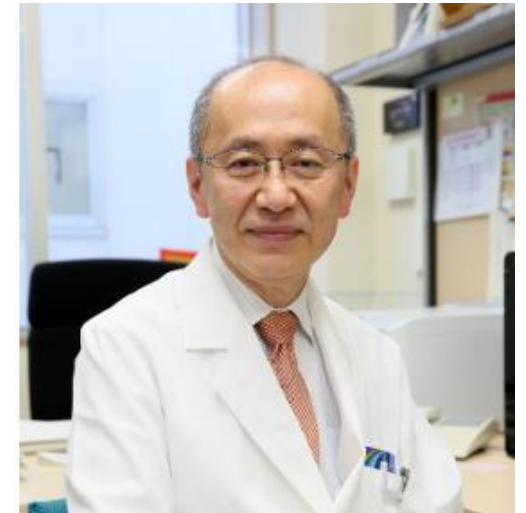
木村 玄次郎 先生

男女共同参画の企画を！

事務局長



土肥 靖明 先生



藤井 聡 先生

# パネルディスカッション4 男女共同参画特別企画

2012年9月21日（金） 15：30～16：30 第7会場

## 高血圧学の魅力とキャリアアッププラン

座長： 中村 敏子 国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科  
大屋 祐輔 琉球大学大学院 医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学

- PD4-1 日本高血圧学会の現状と問題点：専門医制度と男女共同参画を中心に  
Current Trends and Issues for Gender Equality in Japanese Society of Hypertension  
大屋 祐輔（Ohya, Yusuke） 琉球大学大学院 医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学
- PD4-2 名市大の子育て支援と学びなおし講座  
Career Re Design in Nagoya City University  
山下 純世（Yamashita, Sumiyo） 名古屋市立大学大学院 医学研究科 心臓・腎高血圧内科学
- PD4-3 厚生連JA病院の男女共同参画プログラム  
Program of Gender Equality in Kohseiren JA Hospital  
高瀬 浩之（Takase, Hiroyuki） 遠州病院 内科
- PD4-4 女性勤務医から見た高血圧学の魅力  
Gender Equality in Japanese Society of Hypertension “How Interesting Hypertension is  
for Physician Working in Hospital”  
黒田 せつ子（Kuroda, Setsuko） 札幌共立五輪橋病院

**持続的な取り組みを！**

# WGから委員会へ、さらに男女共同参画からD&Iへ



★取組み開始

★ワーキンググループ発足

★男女共同参画委員会設立

★D&Iアンケート

★良塩くんクイズ動画作成

★みりよく辞典公開

★ダイバーシティ推進委員会に改称

★JSH旭川宣言

★WiHRCとの合同  
企画パネル展示

男女共同参画企画

委員会企画

女性研究者奨励賞 表彰      ★アンケート実施

委員会ブース設置 (フォーラム・総会)

学会託児室の常設・対象年齢の引き上げ

キッズ学会潜入ツアー

# 委員会の歩みは、常にフォーラム・総会とともに

## 理事長

2012年～  
堀内 正嗣  
2014年～  
梅村 敏  
2016年～  
伊藤 貞嘉  
2018年～  
伊藤 裕  
2020年～  
楽木 宏実  
2022年～  
野出 孝一  
2024年～  
苅尾 七臣

## 会長（総会）

木村 玄次郎（名市大）  
河野 雄平（国循）  
梅村 敏（横市大）  
堀内 正嗣（愛媛大）  
伊藤 貞嘉（東北大）  
檜垣 實男（愛媛大）  
長谷部 直幸（旭川医大）  
石光 俊彦（獨協医科大）  
大屋 祐輔（琉球大）  
伊藤 裕（慶應義塾大）  
楽木 宏実（大阪労災病院/大阪大）  
野出 孝一（佐賀大）  
市原 淳弘（東京女子医大）

## 会長（フォーラム）

楽木 宏実（大阪大）  
伊藤 裕（慶應義塾大）  
松浦 秀夫（済生会呉病院）  
土橋 卓也（製鉄記念八幡病院）  
苅尾 七臣（自治医科大）  
柏原 直樹（川崎医科大）  
伊藤 正明（三重大）  
甲斐 久史（久留米大）  
中村 敏子（関西福祉科学大）  
齋藤 重幸（札幌医大）  
西山 成（香川大）  
三浦 伸一郎（福岡大）  
石田 万里（広島修道大）

敬称略

日本高血圧学会事務局の皆さま、学会事務局長の先生方にも感謝！

# 自由闊達な活動を見守ってくださった歴代委員長

初代



大屋 祐輔 先生

第2代



野出 孝一 先生

第3代



中村 敏子 先生

第4代



石田 万里 先生

学会の魅力を広く知らしめるべき！

# 「みりよく辞典」で学会の魅力を内外へアピール

## 日本高血圧学会 みりよく辞典

2023.8.21 Ver.



日本高血圧学会ダイバーシティ推進委員会

はじめに

この辞典は 高血圧に関わる全てのかたがたへ  
日本高血圧学会の魅力をお伝えするために  
編集しました

日本高血圧学会は 多職種の会員が参加し  
様々な活動を通して 多くの情報が得られる  
多様性と進取性に満ちた学会です

どうぞ お好きなページからご覧ください  
日本高血圧学会を 少しでも知っていただき  
仲間になっていただけたら幸いです  
みなさまのご入会を お待ちしております

日本高血圧学会ダイバーシティ推進委員会



# 柔軟な発想力で次々と生み出される斬新な企画

## Fun

学会の演題や企画…

どれをとっても 型にとらわれず

自由で 実に興味深い

日本高血圧学会みりよく辞典

## Brilliant

各々のスタンスに合った活動を

続けることが可能だから

誰もがみな 自分らしく輝ける

日本高血圧学会みりよく辞典

## Young

若手の意見が尊重されるから

おもいきり のびのび  
活動できる

日本高血圧学会みりよく辞典

# 多様な人材で広がる委員会活動

## Opportunity

職種、年齢、性別、国籍、キャリア、  
業績と関係なく 座長や委員会活動  
など 活躍のチャンスがある

日本高血圧学会みりよく辞典

## Role model

多種多様な人材が豊富だから  
ロールモデルやメンターを  
みつけやすい

日本高血圧学会みりよく辞典

## Neutral

女性も 男性も LGBTも

老いも 若きも 職種も問わず

全ての人が 尊重される

日本高血圧学会みりよく辞典

# 他委員会との積極的なコラボレーション

## Kids

学会中の託児室は小学6年までOK  
キッズ対象の学会潜入ツアーや  
クッキングショーもあり

日本高血圧学会みりよく

## Community

内科だけでなく 他科や

メディカルスタッフなどと協奏し

高血圧に挑む！

日本高血圧学会みりよく辞典

## Global

国際交流が盛ん！

2022年には国際高血圧学会が  
京都で開催され 大好評

日本高血圧学会みりよく辞典

# 旭川宣言 (2018年)

## 日本高血圧学会 ダイバーシティ推進旭川宣言 JSH旭川宣言

- 全ての患者・医療者の差異を認め、多様性を尊重するダイバーシティの精神を啓発・推進します。
- 全ての会員が多彩な個性と能力を活かしてライフワークバランスを実現できる教育・研究・診療環境をサポートします。
- 患者の多様性を尊重し、わかりやすい高血圧診療とその啓発活動を推進します。
- 合理的配慮を必要とする会員の支援体制を整備します。
- ダイバーシティの視点に立った人材育成を推進します。



Hypertension Research (2019) 42:1483–1484  
<https://doi.org/10.1038/s41440-019-0261-3>

### JSH STATEMENT

## JSH Statement: Asahikawa declaration in promotion of diversity by the Japanese society of hypertension—the JSH Asahikawa declaration

Satoko Nakamura<sup>1</sup> · Naoyuki Hasebe<sup>2</sup> · Midori Yatabe<sup>3</sup> · Takuya Kishi<sup>4</sup> · Mari Ishida<sup>5</sup> · Atsushiro Ichihara<sup>3</sup> · Koichi Node<sup>6</sup> · Toshihiko Ishimitsu<sup>7</sup> · Hiroshi Itoh<sup>8</sup> · Masaaki Ito<sup>9</sup> · Mitsuru Ohishi<sup>10</sup> · Takayoshi Ohkubo<sup>11</sup> · Hisashi Kai<sup>12</sup> · Naoki Kashiwara<sup>13</sup> · Kazuomi Kario<sup>14</sup> · Shigeyuki Saitoh<sup>15</sup> · Takuya Tsuchihashi<sup>16</sup> · Akira Nishiyama<sup>17</sup> · Jitsuo Higaki<sup>18</sup> · Katsuyuki Miura<sup>19</sup> · Hiromi Rakugi<sup>20</sup> · Yuhei Kawano<sup>21</sup> · Kouichi Tamura<sup>22</sup> · Takashi Yatabe<sup>23</sup> · Yusuke Ohya<sup>24</sup> · Sadayoshi Ito<sup>25</sup>

## Diversity

2018年9月 国内で初めて

ダイバーシティ推進 旭川宣言！

実は 国内学会初の快挙

日本高血圧学会みりよく辞典



# X factor

高血圧学は

無限の可能性を

秘めている

## シンポジウム40

学会事業（ダイバーシティ推進委員会）多様性が  
生む高血圧医療の未来：高血圧学会ダイバーシティ  
推進委員会の10年間の成果とこれから

未来を担う子供達への高血圧教育：幼児から中高生  
まで 学会参加体験を通じた取り組み

ダイバーシティ推進委員会 教育Group

現Leader：藤田 恵（日本医科大学 医学教育センター）

（荒川、石田、日下、楠、清水、白木、富谷、松本、三戸、谷田部<sub>緑</sub>）

2015年～ 学会託児所を常設、託児受入年齢を  
小学6年生まで引き上げ（他学会は低学年迄）

2016年～ 「キッズイベントをやりましょう！」  
開催日は学校がお休みの日曜日。

●ダイバーシティ推進委員会 歴代委員長  
大屋祐輔先生、野出孝一先生  
中村敏子先生、石田万里先生  
寛容な御配慮の下（理事会での承認等も頂き）

歴代  
教育／託児  
Group Leader

山下純世先生

深水亜子先生

荒川仁香先生

**キッズ  
学びと学会潜入ツアー**

第39回総会にて初めて行われたキッズ学会潜入ツアー  
コロナ禍で中断されていましたが、昨年に引き続き  
第45回総会でも行います！！今回は血圧測定にも挑戦☆多  
開催日時：9月17日（日曜）10時より 約1時間

減塩が  
大事なんだね

お塩  
どれくらいかな？

学会発表って  
カッコいい  
なあ

日本高血圧学会 ダイバーシティ推進委員会/減塩・栄養委員会/実地医家部会



2023年総会in大阪

2017年総会in愛媛



2019年臨床高血圧フォーラムin久留米

教育(託児) グループは、主に総会における託児室の  
把握と運営、キッズの教育を兼ねた学会潜入ツアーや  
減塩クッキングショーの開催を行って参りました。

参加キッズ名前

ネーム  
カード



パフのせんりゅうツアーにさんかして  
ほんせうにあげらう。

はつきもじょうすにみてくちのて  
うけらうです。

これからおともだちとあそび

あそびたいや ばんぼつていだいね。

また、パフのせんりゅうツアーにさんかして  
むえんこをたのしみにしていき。

またね!

D&I委員より  
参加キッズへ  
御返事のお手紙

良塩くん  
紙バッグ  
タオル  
etc.

① 15000円 日本高血圧学会  
② 10000円 海外在住の日本人  
③ 5000円 日本在住の日本人  
④ 3000円 コスプレ

④ おかあさんとおとうさんが  
あそびたいや ばんぼつていだいね。  
⑤ おかあさんとおとうさんが  
あそびたいや ばんぼつていだいね。  
⑥ おかあさんとおとうさんが  
あそびたいや ばんぼつていだいね。

参加キッズ (7歳)  
のレポート



キッズ学会潜入  
ツアーの様子

減塩委員会より  
お土産の例





# 「減塩クッキングをやりましょう！」

減塩委員会 Dr. 日下、Dr. 土橋  
若手活性化委員会（現U45委員会） Dr. 西山  
実地医家部会

学会開催地地の栄養大学の先生や栄養管理士さんのご協力の下、減塩メニュー考案



※キッズイベントは高血圧の予防・撲滅・推進が究極の目的 ⇒親子で参加頂く。

減塩委員会×若手活性化委員会×ダイバーシティ推進委員会×  
実地医家部会×ISH2022準備委員会 コラボレーション企画

## 東京親子減塩トーク&ランチ

2019年10月27日(日) AM11:00~12:10

対象者： 減塩を学び・食体験したい親子  
参加費： 1名 1500円  
場所： 京王プラザホテル43階 ムーンライトにて

シェフ特製の減塩フレンチを頂きました。

# 「キッズ・クッキングショー」レシピ例

切り干し大根のスープ

＜材料＞

切り干し大根	5g
レタス	10g
ベーコン	1/2枚
水	150cc

(食塩相当量 0, 24g)

＜作り方＞

- 1、切り干し大根は2cmぐらいに挟みで切る  
ベーコンは1cm幅、小松菜は3cm幅に切る
- 2、鍋に水と切り干し大根を入れ中火にかける
- 3、沸騰したらベーコンと小松菜を入れる

サンドイッチ

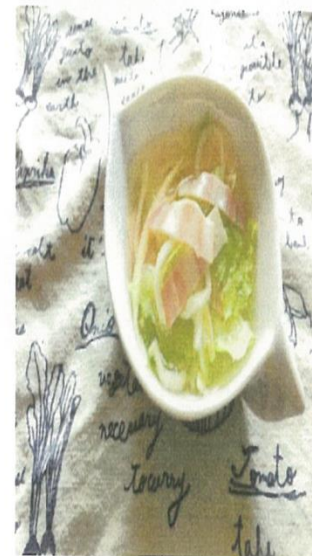
＜材料＞

サンドイッチパン	2枚
バター	10g
千切りキャベツ	15g
ゆで卵	1/2個
ハム	1枚
ピック	4本

(食塩相当量 1, 76g)

＜作り方＞

- 1、サンドイッチパンにバターを塗る
- 2、ハムを型で4枚抜く
- 3、1にキャベツ・ゆで卵をのせ、もう1枚のパンで挟み包丁で4等分にする
- 4、それぞれの上にハムをのせ上からピックを刺す



途中まで食材と料理準備済の下、キッズたちは最後の仕上げをしてもらう：衛生面でも問題なく実施できた。

コロナ禍を経、クッキングショーは感染リスクから開催困難となってしまいましたが・・・コロナ禍明けの2023年（昨年）新たに・・・

2023年総会でキッズ学びと学会潜入ツアーとし「小児血圧測定」はじめ、キッズとその保護者を対象とした血圧教育（2023年は7名参加）



血圧測定の様子

お塩どれだけ？ 血圧記録シート



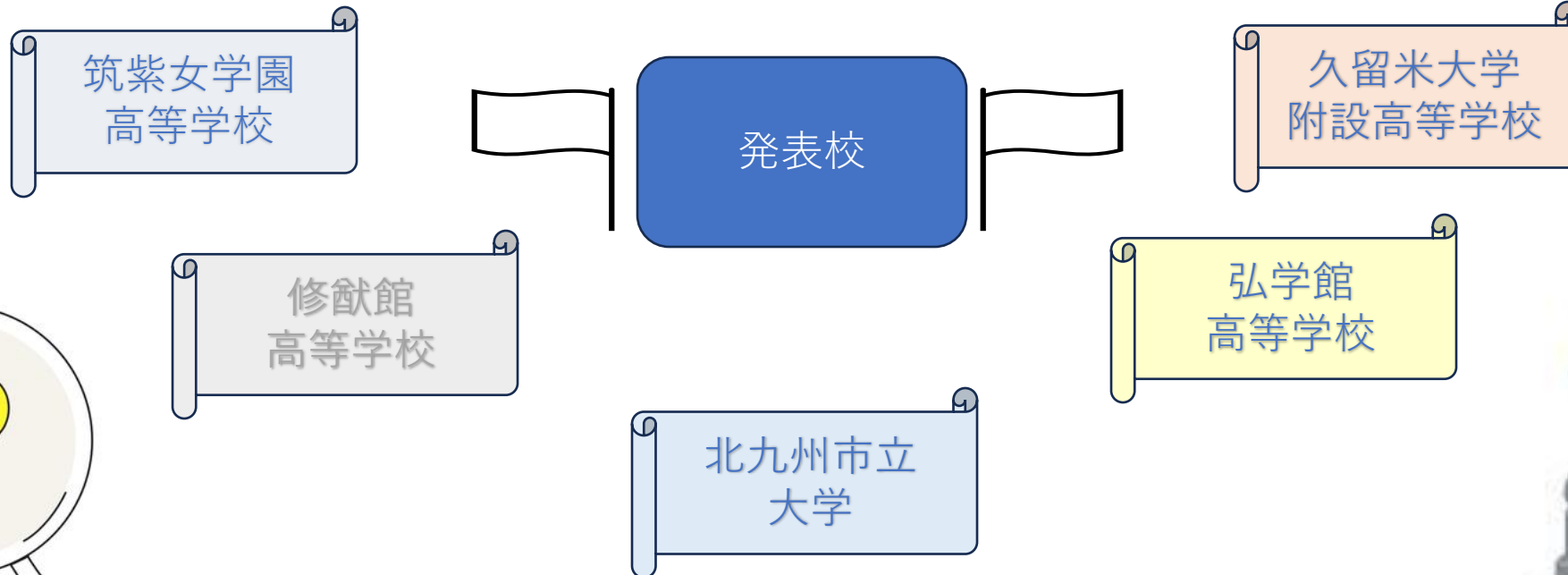
好評を博し、今年（2024年）も13日（日）実施（4歳～11歳：計10名キッズ／8組親子が参加）。さらに中高生を対象とした教育イベントの実施も予定しています。

# バリすご！！ヤングリサーチャーの血圧クエスト2024

第46回総会では、キッズより年上の世代に血圧に興味をもち、減塩など高血圧予防への意識をもってもらいたいと考えました。本企画は高校・大学生がヤングリサーチャーとして血圧に関する探索（研究）を行い学会で発表する画期的なものです。

ぜひ、若きリサーチャー達の発表をお聞きください。これからの研究や診療に役立つヒントが得られるかもしれません。

## 10月14日（月祝日）13時より第5会場にて



皆様のご来場を心よりお待ちしております。



第46回日本高血圧学会総会 シンポジウム

「多様性が生む高血圧医療の未来:高血圧学会ダイバーシティ推進委員会の10年間の成果とこれから」

2024年10月14日

# 女性研究者奨励賞から見える学会のダイバーシティ: 受賞後の動向を含めて

女性研究者奨励賞グループ

田辺 晶代、白木 綾、辰巳 友佳子、小山 雅之、

林 香、上田 誠二、人見 浩史、谷田部 緑

委員長 石田万里

# 女性研究者奨励賞規定

## 第1条（趣旨）

本規定は、日本高血圧学会女性会員の研究活動・学会参加を支援し活躍の場を増やすことを目的として2015年に創設された女性研究者奨励賞〔英文名：JSH Women Investigator's Award〕（以下「奨励賞」という）について定める。

## 第2条（授賞の対象）

以下の項目を満たす者を対象とする。

1. 女性会員（医師・コメディカル）、女性準会員、非会員（コメディカル）
2. 臨床高血圧フォーラムおよび総会における演題登録時に奨励賞の選考対象となることに同意した一般演題の筆頭演者

## 第3条（選考）

1. 奨励賞受賞者の選考は、ダイバーシティ推進委員会の奨励賞担当委員により行う。
2. 一般演題の査読点数がある場合（主に総会）は上位約10名から研究賞担当委員が採点して選考。
3. 査読点数がない場合（主にフォーラム）は、対象者の中から担当委員が採点して選考する。
4. 受賞者数は5名を上限とする。 同賞を受賞したことのある者は審査対象から除く。

## 第4条（授賞式）

1. 当該会期中に受賞式を行う。
2. 受賞者には各々賞状および副賞（記念品）を贈る。

## 第5条（変更）

この規定の変更は、理事会の議決による。

回数		受賞人数
1	2015 第4回 フォーラム	5
2	2015 第38回 総会	5
3	2016 第5回 フォーラム	5
4	2016 第39回 総会	5
5	2017 第6回 フォーラム	5
6	2017 第40回 総会	5
7	2018 第7回 フォーラム	5
8	2018 第41回 総会	5
9	2019 第8回 フォーラム	5
10	2019 第42回 総会	5
11	2021 第9回 フォーラム	4
12	2021 第43回 総会	6
13	2022 第10回 フォーラム	3
14	2022 第44回 総会	3
15	2023 第45回 総会	5
	延べ	71

\* 表彰状授与および  
副賞(記念品)

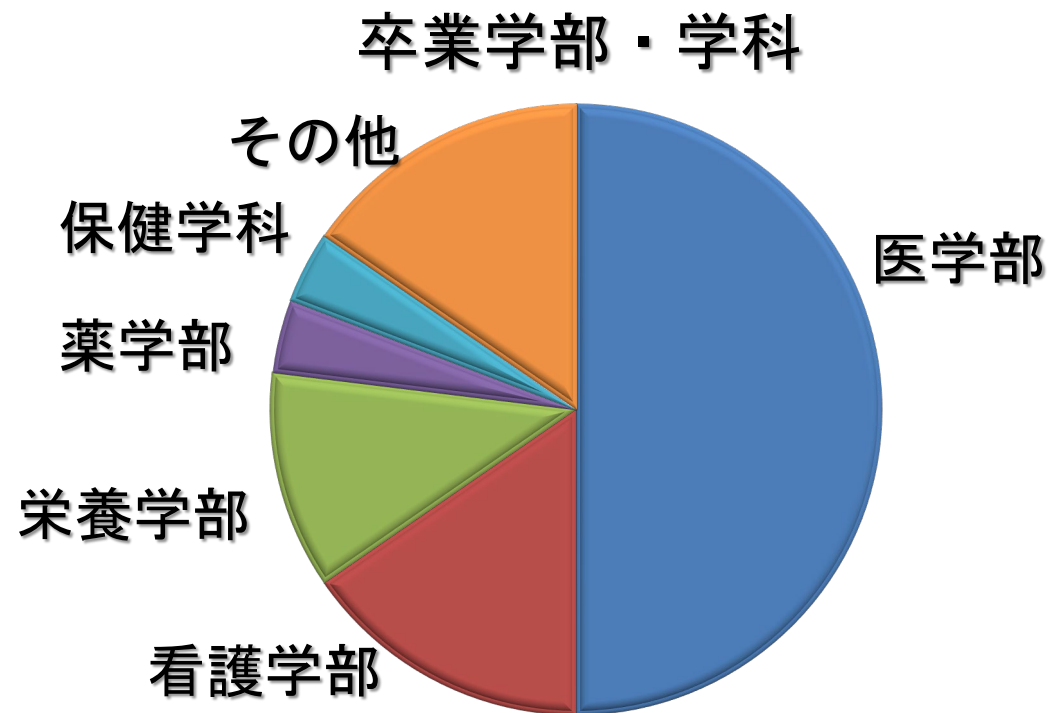
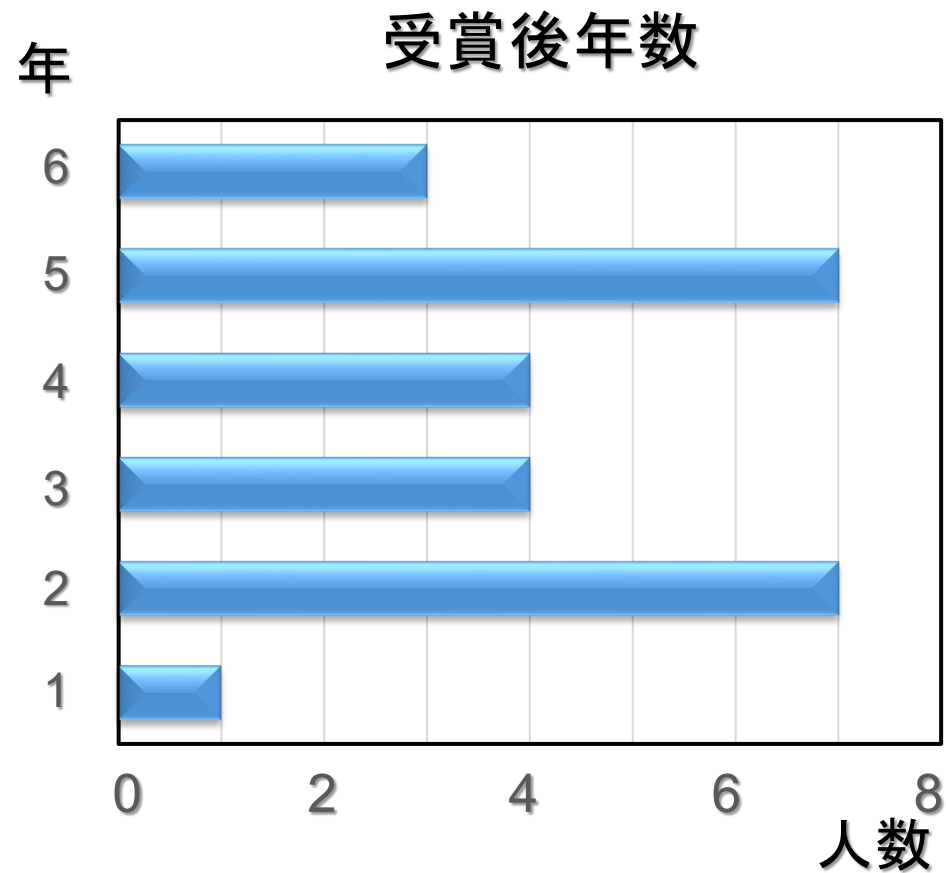


第15回女性研究者奨励賞受賞者



# 女性研究者奨励賞 受賞者の受賞後動向アンケート調査

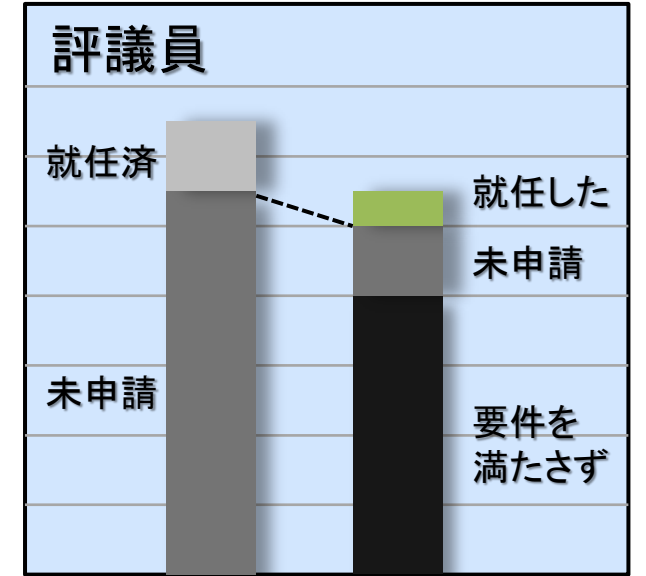
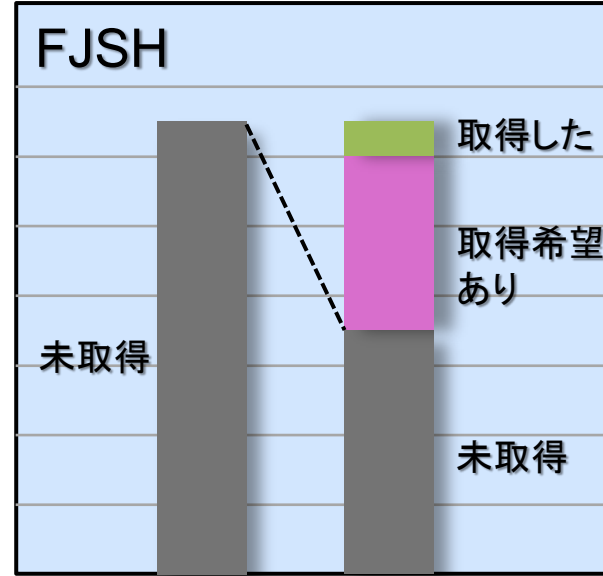
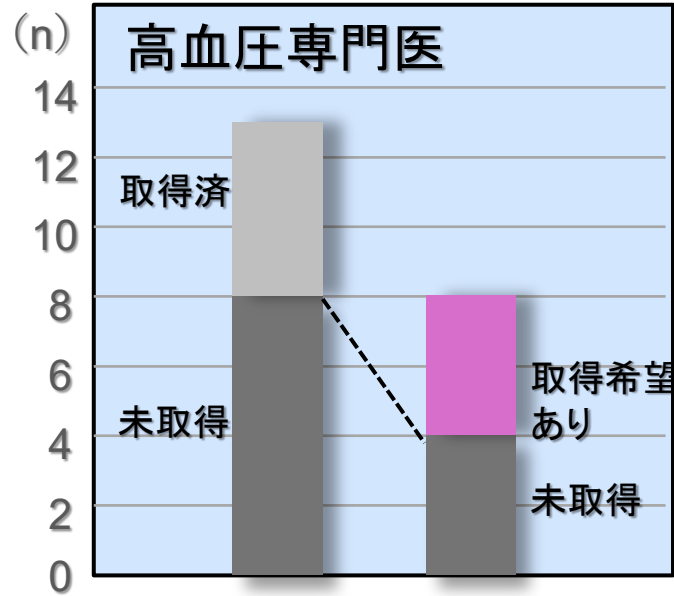
2019年、2021年に実施（対象者 50名、回答 26名、回答率 52%）



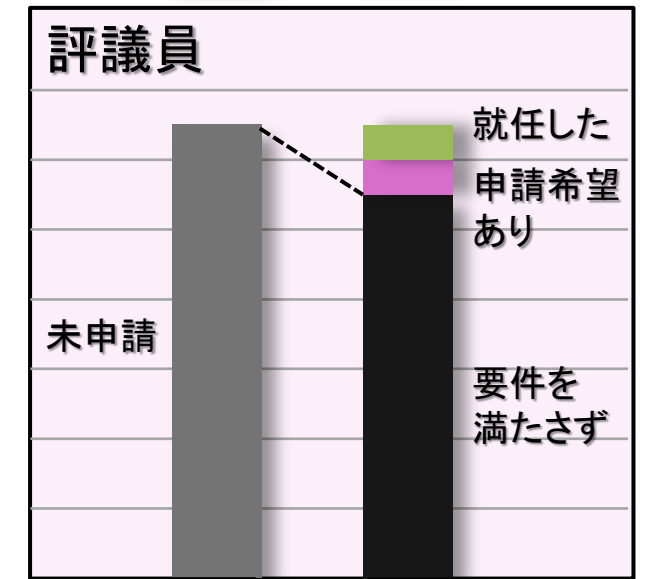
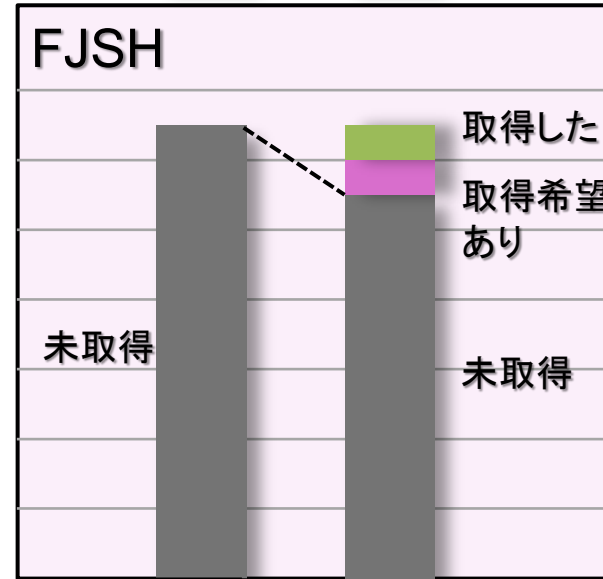
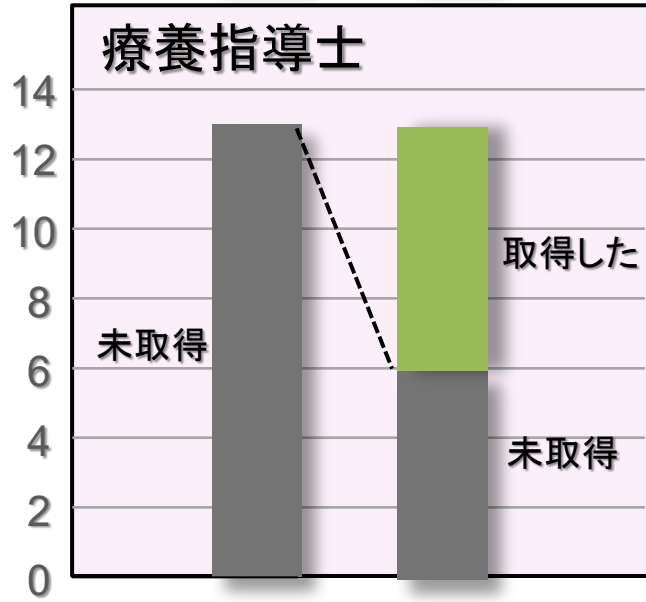
職種	人数	職種	人数
医師	13	看護師	1
保健師	1	教員	5
管理栄養士	3	研究員	2
		その他	1

# 受賞前後の資格取得および評議員就任状況

医師



医師以外



受賞時 受賞後

受賞時 受賞後

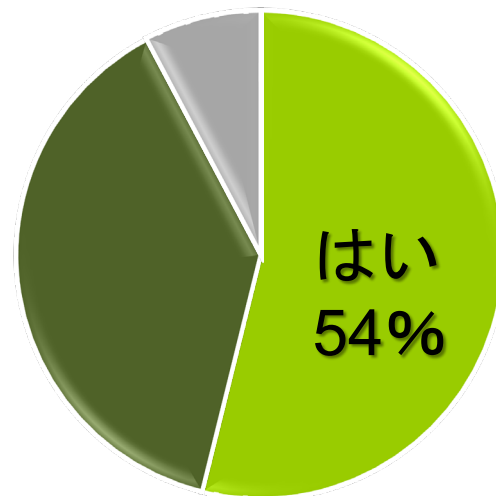
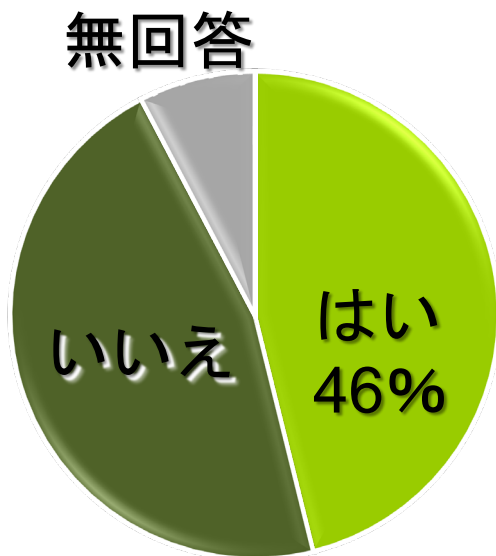
受賞時 受賞後



## 受賞テーマで 論文を発表した

## 受賞を契機に キャリアアップした

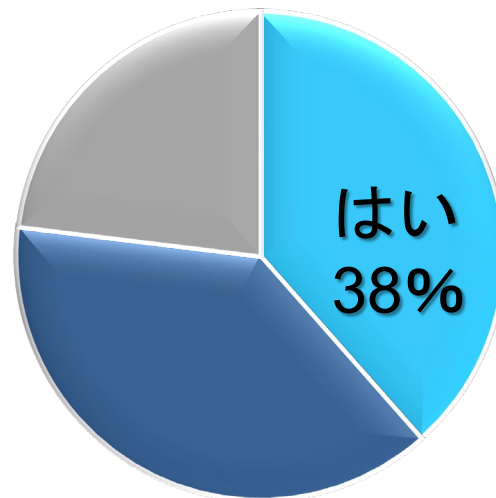
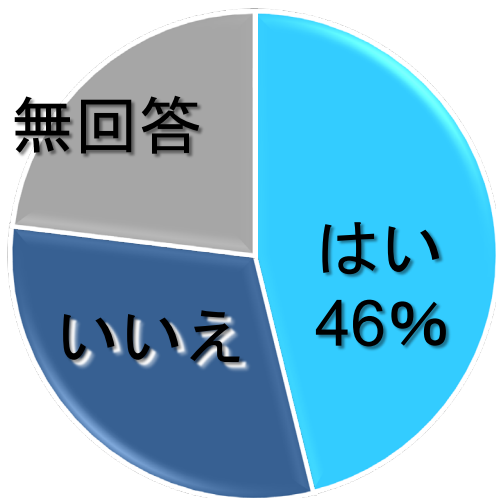
医師



### キャリアアップの内容

- ・ 医長に昇進した 1名
- ・ 研究員から講師になった 5名
- ・ 高血圧指導医を取得した 1名
- ・ 専門医を取得した 2名
- ・ 翌年にSHR賞を受賞、論文発表に励み 1名

医師以外



- ・ 昇進した 1名
- ・ 非常勤から常勤になった 1名
- ・ 研究開発に携わることになった 1名
- ・ 新たに資格を取得した 3名
- ・ 研究継続の励みになった 1名

## アンケート結果のまとめ

- ✓ 受賞者は約50%が医学部卒、約50%は複数の学部卒、職名を含み、本学会でダイバーシティの推進が実践されていることが示されていた。
- ✓ 受賞後に約50%が受賞テーマで論文を発表し、約50%はキャリアアップしたと回答。
- ✓ 受賞後に50%以上が予防療養指導士を取得、2名が評議員に就任、高血圧専門医およびFJSH取得のモチベーションが高まっていた。  
本賞が女性会員の学会活動への参加推進に貢献していることを示していると考えられた。
- ✓ 今回の解析は回答率52%というバイアスがあるが、本賞が受賞者のその後の研究活動、学会活動に少なからず前向きな影響を与えていることを示唆していた。
- ✓ 今後も本賞を通じて、受賞者のみならず、受賞者周囲に対する本学会の活動や各種資格の周知、波及が期待される。

# D&Iから高血圧診療を全国民に

-例えば私達 (医療従事者)の血圧は大丈夫？-

大阪市立総合医療センター 腎臓高血圧内科  
日本高血圧学会 ダイバーシティ推進委員会  
山崎 大輔

# CO I 開示

発表者名：山崎 大輔

演題発表に関連し、発表者らに開示すべき  
CO I 関係にある企業などはありません。

日本高血圧学会 ダイバーシティ推進委員会

## 多様性グループ

多様性グループは、従来の医師－患者、病気－治療といった単相関にとどまらず、多様なアプローチによりWell-beingの実現を目指します。

<On-going project>

・医療者の食と高血圧に関するアンケート調査

山下 純世 楠 博 丸橋 達也 小山 雅之  
深水 亜子 藤田 恵 荒川 仁香 人見 浩史 (順不同)  
山崎 大輔 (Sub-leader) 谷田部 淳一 (Leader)



高血圧診療は**全国民**に提供されているのだろうか

---

## **全国民**は究極のダイバーシティ&インクルージョン(D&I)

性別、年齢、障がい、国籍などの**外面の属性**や、ライフスタイル、職歴、価値観などの**内面の属性**にかかわらず、それぞれの個を尊重して、医療を提供していくこと。



誰が高血圧診療を十分に受けられていないのか・・・

介護職、コンビニエンスストアスタッフ、システム運用管理者、警備員、**医療従事者** etc・・・

そもそも自分達医療従事者の高血圧は適正に診療できているのか

# 医療従事者の高血圧診療における障壁 -仮説-

---

## 環境

- 長時間労働
- シフトワーク
- 病院の食事情 (コンビニしかない病院もある)
- 運動不足
- 家庭血圧を測定する時間がない

## 自己管理

- 高血圧の軽視
- 知識があるが故に自分で解決しようとする
- 薬の自己中断

## 距離

- 忙しさからの病院受診への時間的距離
- 自分の勤める病院に対する心理的距離
- エビデンスがほとんどない (データとの距離)

# 医療従事者を対象としたアンケート研究を実施

---

## オンラインアンケートを用いた医療従事者の高血圧の実態調査と問題点の探索

### 1. 属性情報

年齢・性別・BMI・高血圧以外の併存症・職種・診療科・勤務施設・当直/夜勤回数・平均労働時間・平均睡眠時間など

### 2. 高血圧の診断の有無

### 3. 健康診断・医療機関・家庭で測定した血圧の値

### 4. 塩分チェックシートに基づいた塩分摂取量

### 5. 工作中的食事状況

### 6. 生活習慣（飲酒・喫煙・身体活動・体重の増加）

### 7. 高血圧患者の受診状況・内服の有無・検査の施行の有無



# 研究体制・アンケート協力施設 (敬称略)

## 日本高血圧学会

### 研究責任者

山崎大輔 (大阪市立総合医療センター)

### 研究分担者

谷田部淳一 (一般社団法人 テレメディーズ)  
石田万里 (広島大学大学院医系科学研究科)  
山下純世 (名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院 )  
楠博 (大阪歯科大学 歯学部)  
丸橋達也 (広島大学原爆放射線医学研究所)  
小山雅之 (札幌医科大学医学部)  
深水亜子 (久留米大学 心臓・血管内科)  
藤田恵 (日本医科大学 医学教育センター)  
荒川仁香 (九州医療センター)  
人見浩史 (関西医科大学医学部)  
市原淳弘 (東京女子医科大学 内科学講座)  
中村敏子 (医療法人藤井会 深江クリニック)

## 大阪市立総合医療センター

### 研究責任者

小西啓夫 (大阪市立総合医療センター)

## アンケート協力施設

大阪市立総合医療センター  
石切生喜病院  
医療法人 藤井会 深江クリニック  
名古屋市立大学病院  
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター  
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター  
名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院  
札幌医科大学附属病院  
広島大学病院  
広島大学原爆放射線医学研究所  
久留米大学病院  
四国こどもとおとなの医療センター  
日本高血圧学会

# Acknowledgement (敬称略)

---

## ダイバーシティ推進委員会

石田万里、日下美穂

## 多様性G

谷田部淳一、小山雅之、山下純世、楠博、丸橋達也、深水亜子、藤田恵、荒川仁香、人見浩史、市原淳弘、中村敏子

## 大阪市立総合医療センター

小西啓夫

## 日本高血圧学会事務局

大久保俊宏

## 日本高血圧学会倫理審査

有馬久富



持続可能な進化：  
未来を拓くダイバーシティ推進委員会



ダイバーシティ推進委員会 委員長 石田万里

# 委員 27名

副委員長：岸 拓弥, 吉田 守美子

スーパバイザー：中村 敏子, 市原 淳弘

	広報・交流G	企画G	奨励賞G	教育G	多様性G	小冊子G
リーダー	深水 亜子	吉田 守美子	田辺 晶代	藤田 恵	谷田部 淳一	山下 純世
サブリーダー	清水 康平	丸橋 達也	白木 綾	荒川 仁香	山崎 大輔	深水 亜子
メンバー	辰巳 友佳子	山崎 大輔	辰巳 友佳子	白木 綾	山下 純世	
	吉田 守美子	岸 拓弥	小山 雅之	楠 博	楠 博	
	岸 拓弥	富谷 奈穂子	林 香	清水 康平	丸橋 達也	
	林 香	本多 勇晴	上田 誠二	富谷 奈穂子	小山 雅之	
	上田 誠二	三戸 麻子	人見 浩史	松本 知沙	深水 亜子	
	荒川 仁香	谷田部 淳一	谷田部 緑	日下 美穂	藤田 恵	
	本多 勇晴			三戸 麻子	荒川 仁香	
				谷田部 緑	人見 浩史	

委員 27名

副委員長：岸 拓弥, 吉田 守美子

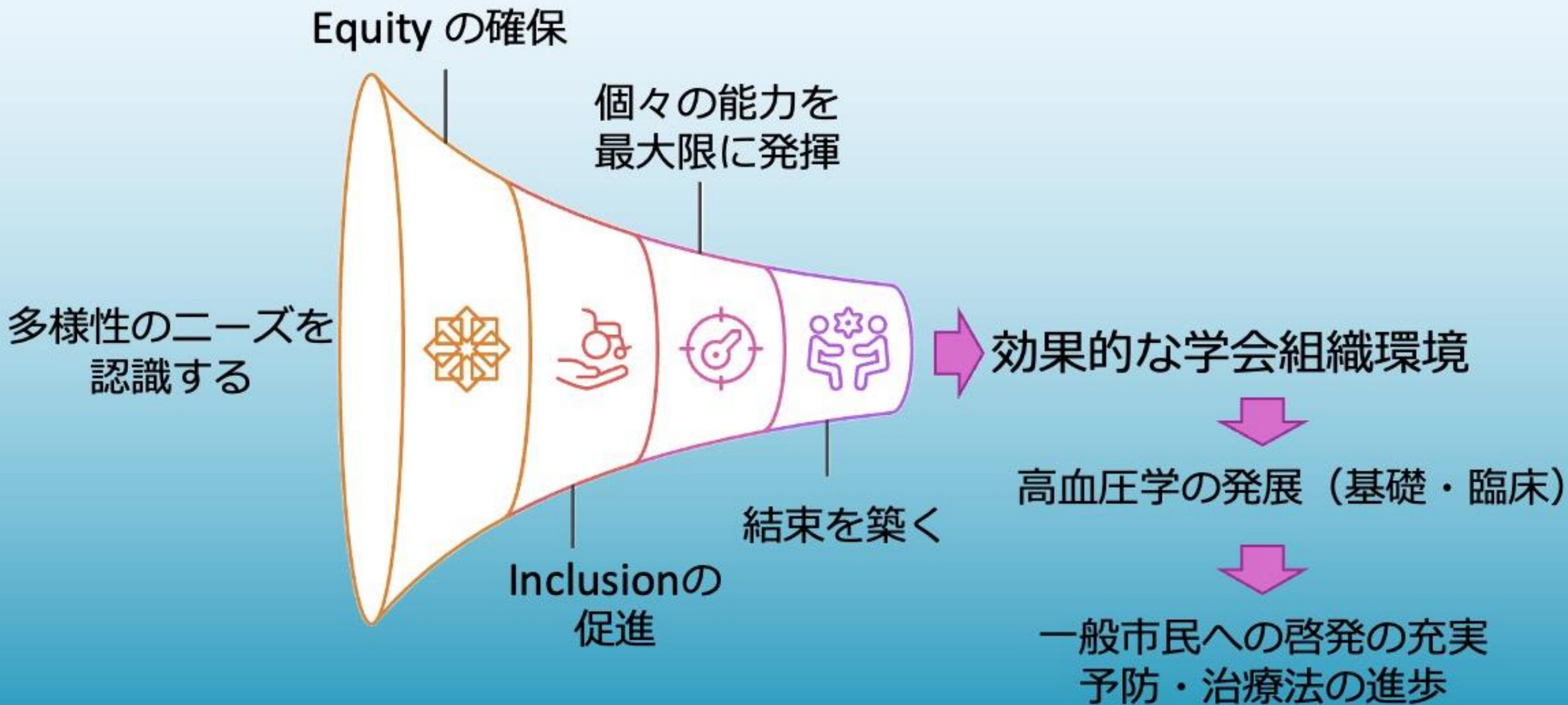


グループリーダー  
深水 亜子  
田辺 晶代  
藤田 恵  
谷田部 淳一  
山下 純世  
吉田 守美子

# ダイバーシティ推進は...



# ダイバーシティ推進によって...



バリすご！！  
ヤングリサーチャーの  
血圧クエスト2024  
10月14日(月) 13時～14時

### 教育G

総会時の託児業務  
キッズツアー  
(幼児からの高血圧教育)  
高校生企画

### 多様性G

高血圧の多様性に関する調査・研究

小冊子G  
学会アピール

### 広報・交流G

学会ブース開設  
委員会ニュースの発信  
委員会ホームページ  
(英語サイトあり)

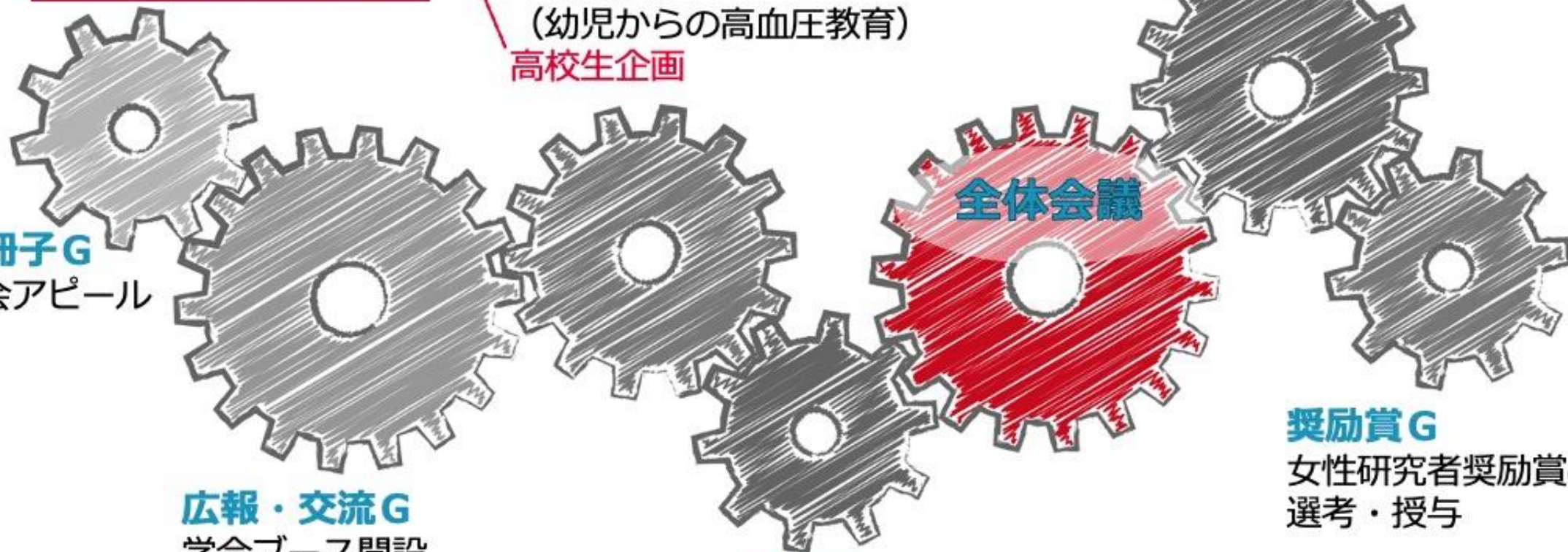
### 全体会議

### 企画G

総会時ダイバーシティ企画  
委員会の達成状況  
ダイバーシティに関する情報提供

### 奨励賞G

女性研究者奨励賞の  
選考・授与





# 日本高血圧学会の Diversity & Inclusion with Equity

持続可能な進化のために...

DI with E を進めると同時に  
新しい人材を掘り起こしに行こう

